



平成30年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年6月14日

上場会社名 サンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4592 URL www.sanbio.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 敬太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 角谷 芳広 TEL 03 (6264) 3481
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第1四半期の連結業績（平成29年2月1日～平成29年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第1四半期	123	△80.2	△1,021	—	△1,098	—	△1,097	—
29年1月期第1四半期	625	119.7	77	—	△320	—	△277	—

(注) 包括利益 30年1月期第1四半期 △1,061百万円 (—%) 29年1月期第1四半期 △265百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第1四半期	△24.24	—
29年1月期第1四半期	△6.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年1月期第1四半期	6,400	3,555	55.3	78.10
29年1月期	6,292	4,594	72.8	101.52

(参考) 自己資本 30年1月期第1四半期 3,538百万円 29年1月期 4,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年1月期	—				
30年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年1月期の連結業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	328	△52.0	△1,996	—	△2,002	—	△2,015	—	△44.53
通期	662	△30.2	△3,945	—	△3,957	—	△3,982	—	△87.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期1Q	45,309,258株	29年1月期	45,109,032株
② 期末自己株式数	30年1月期1Q	115株	29年1月期	84株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期1Q	45,273,614株	29年1月期1Q	44,632,724株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報等)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年2月1日～平成29年4月30日)におけるわが国経済は、企業収益の底堅さを背景に景気は緩やかな回復が継続しているものの、個人消費は依然として力強さに欠けるなど緩慢な回復にとどまりました。米国においては、内外需要の持ち直しを受けた企業の収益環境の改善により、企業活動や雇用環境の先行きに明るさも見えるなど景気回復傾向が持続しました。

再生医療業界においては、平成26年11月に施行された再生医療安全性確保法及び改正薬事法によって、日本における再生医療の産業促進化が進むなか、平成27年9月には、新制度の早期承認制度下で初めてとなる国内の再生医療等製品に対する条件・期限付き販売の承認がされるなど、再生医療等製品の実用化が現実となりつつあります。

このような環境のもと、当社グループ(以下、当社及び連結子会社SanBio, Inc. (米国カリフォルニア州マウンテンビュー市)の2社を指します。)は、中枢神経系疾患に対する新しい治療薬として当社グループ独自の再生細胞薬SB623の事業化を目指し、日米を中心に開発を進めています。

当第1四半期連結累計期間においては、米国で実施しているSB623の慢性期脳梗塞プログラムのフェーズ2b臨床試験(被験者156人規模、二重盲検試験)について、平成28年3月に最初の被験者の組み入れが開始されて以降、順次被験者の組み入れを進めているところです。また、日米2か国で実施しているSB623の慢性期外傷性脳損傷を対象としたフェーズ2臨床試験治験(被験者52人規模、二重盲検試験)についても、米国では平成28年7月に、日本では平成28年10月にそれぞれ最初の被験者の組み入れが開始されて以降、順次被験者の組み入れを進めています。外傷性脳損傷プログラムについては、先に行われた慢性期脳梗塞を対象としたフェーズ1/2a臨床試験の結果を受け米国食品医薬品局(FDA)および独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)からフェーズ1を行わないことの承認を取得して、フェーズ2からスタートしています。

平成28年6月に、SB623慢性期脳梗塞プログラムフェーズ1/2a臨床試験の投与後12ヵ月経過時の結果に関する論文が米国心臓協会(American Heart Association)発刊の医療専門誌STROKEに掲載され、平成29年2月には、同協会から2016年イノベーション・アワード第3位を受賞し、多くの医療関係者ならびにメディアの注目を集めました。

このような状況のなか、北米において大日本住友製薬株式会社と締結しているSB623の共同開発及びライセンス契約に基づき米国の慢性期脳梗塞フェーズ2b臨床試験に係る開発協力金収入を得ました。これにより、当第1四半期連結累計期間の事業収益は123百万円(前年同期は事業収益625百万円)となりました。営業損失については、上記2つの開発プログラムに係る臨床試験費用等を含む費用として研究開発費929百万円を計上した結果、1,021百万円(前年同期は営業利益77百万円)となりました。また、主に為替差損65百万円を計上したことにより、経常損失は1,098百万円(前年同期は経常損失320百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,097百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失277百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、6,250百万円(前連結会計年度末は6,124百万円)となり、前連結会計年度末に比べて126百万円増加いたしました。これは、前渡金が174百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、149百万円(前連結会計年度末は167百万円)となり、前連結会計年度末に比べて18百万円減少いたしました。これは、有形固定資産が16百万円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、561百万円(前連結会計年度末は547百万円)となり、前連結会計年度末に比べて14百万円増加いたしました。これは、流動負債の「その他」に含まれる未払金が148百万円増加し、短期借入金が100百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払費用が42百万円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、2,283百万円(前連結会計年度末残高は1,150百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,133百万円増加いたしました。これは、長期借入金が増加したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,555百万円(前連結会計年度末は4,594百万円)となり、前連結会計年度末に比べて1,039百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失1,097百万円を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月17日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,561,424	5,546,773
前渡金	495,531	669,984
その他	67,608	33,960
流動資産合計	6,124,564	6,250,718
固定資産		
有形固定資産	148,371	131,731
無形固定資産	7,701	6,875
投資その他の資産	11,776	11,174
固定資産合計	167,849	149,780
資産合計	6,292,414	6,400,499
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	49,980	66,640
賞与引当金	13,327	13,362
その他	384,088	481,661
流動負債合計	547,395	561,663
固定負債		
長期借入金	1,150,020	2,283,360
固定負債合計	1,150,020	2,283,360
負債合計	1,697,415	2,845,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,852,012	3,862,284
資本剰余金	7,563,454	7,573,726
利益剰余金	△6,814,228	△7,911,555
自己株式	△146	△180
株主資本合計	4,601,091	3,524,274
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,642	14,218
その他の包括利益累計額合計	△21,642	14,218
新株予約権	15,548	16,983
純資産合計	4,594,998	3,555,475
負債純資産合計	6,292,414	6,400,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)
事業収益	625,598	123,870
事業費用		
研究開発費	366,964	929,145
その他の販売費及び一般管理費	181,414	216,489
事業費用合計	548,378	1,145,634
営業利益又は営業損失(△)	77,220	△1,021,764
営業外収益		
受取利息	4,109	3,811
その他	124	168
営業外収益合計	4,234	3,979
営業外費用		
支払利息	7,143	4,415
為替差損	364,427	65,324
資金調達費用	30,000	11,034
営業外費用合計	401,570	80,774
経常損失(△)	△320,115	△1,098,559
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,716
特別利益合計	—	1,716
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,115	△1,096,842
法人税、住民税及び事業税	371	485
法人税等調整額	△43,084	—
法人税等合計	△42,713	485
四半期純損失(△)	△277,402	△1,097,327
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△277,402	△1,097,327

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)
四半期純損失(△)	△277,402	△1,097,327
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,244	35,860
その他の包括利益合計	12,244	35,860
四半期包括利益	△265,157	△1,061,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△265,157	△1,061,467
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)

当社グループは、他家幹細胞を用いた再生細胞事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。